

令和7年度 飯豊小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～いきいきとやりがいをもって働ける職場づくりにむけて～

飯豊小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

[定量的現状]

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標:10人(R6年度:18人)

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」

・R7年度目標:0人(R6年度:2人)

[定性的現状]

○ 教職員の意識

- ・当校で推進する働き方改革・ノー残業デーの取組が全教職員に徹底していない。
- ・時間外に勤務している教職員が固定しており、人数も多い。

○ 管理職のマネジメント

- ・ICT環境整備、生徒指導対応等、時間の取られる業務について、業務見直し等の対応が遅れている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。

○ 本校に勤務する先生方の体力と気力を向上します。

<目指す姿>

- ・子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。
- ・働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・管理職が日頃から、教職員に対し業務改善の啓発を行っている。
- ・教職員が、家庭での休養の時間を十分に確保できている。
- ・教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ノー残業デーの取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・管理職が、職員へ積極的に声掛けを行い、勤務状況や健康状態を的確に把握します。
- ・時間外在校等時間が80時間を超える職員については、産業医による保健指導を確実に実施し、教職員の健康を確保します。また、月の途中で時間外在校等時間が45時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、時間外業務の縮減に向けた取組について働きかけます。
- ・健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・業務を効率的に進められるよう意識化を図り、19時以降の残業を減らすよう働きかけます。
- ・管理職から学校行事の精選・改善について積極的に提言します。
- ・実効性のある労働衛生委員会の定期的な開催により、職員の意見を生かし、業務の効率化を進めます。
- ・職員の意識改革を目的に、働き方改革の具体的な実践事例を紹介していきます。
- ・定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します。(職員会議等)
- ・会議の進め方についてDXIにより合理化を図ります。
- ・19時以降の電話対応の在り方について検討・改善します。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・対外的な行事や地域行事への対応については、職員の負担軽減も鑑みながら、関係団体との協議を進め縮減化・簡略化が図られるよう調整します。
- ・児童の登下校の見守り活動について、地域や保護者の理解・協力を得ながら進められるよう働きかけます。
- ・教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう校報等を活用して周知します。

令和7年4月28日 飯豊小学校長 佐藤 加奈子

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕